

[記入例]

様式第9号(第32条関係)

1	久米島町消防本部消防長 様 〇〇年〇〇月〇〇日 住 所 〇〇町字〇〇番地 職 業 自営業 (電話番号 000-000) 氏 名 〇〇〇〇印					
不動産り災申告書						
2	り災物件と申告者との関係					
所有者・管理者・占有者 建築・購入・〇年〇月		り災物件の所在地				
		久米島町字〇〇番地				
3	建築又は購入金額					
	推定・記録・記憶 ○年〇月		推 定 ・ 記 錄 ・ 記 憶		坪当たりの金額円	総 金 額
			〇〇万円	〇〇〇万円		
取 得 後 の 経 過						
4	修繕・改築	年 月	修繕・改築した箇所		修繕・改築に要した金額	
					(円)	
5	増築	年 月	増築の概要	増築面積	増築に要した金額	
				m ²	(円)	
り災前の建築物詳細						
6	建物用途	屋 根	外 壁	階 数	延 面 積	居 住 者 内 訳
	住宅	鉄筋コンクリート	鉄筋コンクリート	1階	120m ²	世帯数 人 1世帯 4人
建 物 以 外 の り 災 状 況						
り災物件名 り災の別 数量又は面積 経過年数 時価による損害見積額						
7	台所の壁		焼・消・他	15m ²	15年	250万円
	電化製品		焼・消・他	冷蔵庫、レンジ	10年	20万円
火 灾 保 険 の 契 約						
8	契約会社名		契約年月日	保険金額		
	〇〇火災補償		〇年〇月〇日	2,000万円		

(裏)

【記載要領】

(1)の欄について

印のところは、必ず押印してください、印鑑のない場合は、左手の人差し指による指印をしてください。

(2)の欄について

り災物件と関係者との関係欄は、あてはまるものを○で囲んでください。

(3)の欄について

各欄の記入にあたって、それが推定によるものか、記憶に基づくものなのか、あるいは帳簿や契約書などの記録によって明らかなものであるか、いずれかによってあてはまるものを○で囲んでください、総金額とは、り災した建物の総計金額のことです。

(4)の欄について

建物を取得してからり災するまでの間に、修繕又は改築した箇所を具体的に書いてください。

(5)の欄について

建物用途の欄は、住宅、店舗、倉庫、物置、作業場又は工場のように使用されている用途を記入してください。坪を平方メートルであらわす場合は3.3倍してください。

(6)の欄について

1 り災物件の欄は、塀の類、庭木の類、看板など、り災したものを見込んでください。

2 り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。なお、焼、消、他の意味は次のとおりです。

(1) 焼・・・燃えたもの、熱で侵されたもの

(2) 消・・・消火するために壊れたもの、汚れたものなど

(3) 他・・・煙で汚れたもの、運び出すとき落として壊れたもの、避難するとき壊れたものなど

備考

(1) この申告書は、り災した日から起算して4日以内に提出してください。

(2) この調査書は、建物1棟について1枚を使用してください。